

■ 当科での取り組み(皮膚を切らない骨延長法) - 経皮的骨切りによる仮骨延長法 -

当科の診療科長荒田は、ワイヤーで骨切りを行う経皮的骨切りを仮骨延長法に組み合わせた、皮膚切開を行わない治療法を開発し、国内外の様々な学会や論文で報告しています。

学会報告・論文

経皮的骨きりによる手指仮骨延長術

荒田順 第 52 回日本手の外科学会

第 5 中手骨短縮症に対し背側切開を行わずに仮骨延長術を施行した一例

荒田順 第 94 回日本形成外科学会関西支部学術集会

中足骨短縮症に対して経皮的骨切り術による仮骨延長法を施行した 1 例

荒田順 日形会誌.2005.06

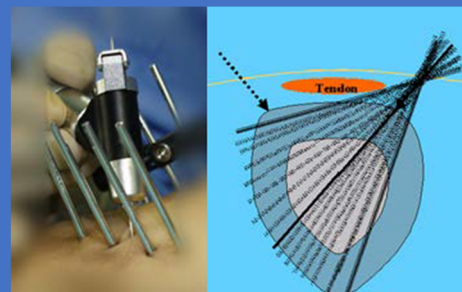
Nonincisional osteotomy for gradual lengthening by callus distraction in the hand and foot

Jun Arata Annals of Plastic Surgery Vol67:232-234 2011

Nonincisional osteotomy for gradual lengthening by callus distraction for congenital brachymetatarsia

Jun Arata Journal of Foot and Ankle Surgery Vol21 2021

従来の仮骨延長法では短縮した中足骨上に3、4cm程度の皮膚切開をし、骨切りをするのが通常でしたが、この方法ではワイヤーにより骨に穴を開けることで骨切りを行うための皮膚切開は行わず、また骨切りの際のワイヤー刺入部も目立ちません。足の甲の切開による瘢痕がないため、最終的な外観はこの方法が優れていると考えています。



経皮的骨切り

中足骨短縮症について

